

三島村離島振興計画（案）に係るパブリックコメントの結果

1 実施期間 令和5年2月8日（水）～令和5年2月28日（火）

2 意見の提出状況 パブリックコメント：3人

3 提出された意見の概要、それに対する村の考え方

番号	意見の概要	意見の考え方等
1	<p>第2章 地域の概況・課題</p> <p>第7節 生活環境の現況及び課題</p> <p>1) 他項目では“現況及び課題”を記載しているが、この項目では現況を記しているのみであり、各細節ごとの課題についての記載がない（水道を除く）。課題はないという認識か。</p>	<p>以下は、計画に追加記載いたします。</p> <p>◇ 塩害による施設の老朽化が顕著です。過疎高齢化による従事者不足も深刻であり、今後ごみ処理広域化を検討する必要があります。</p> <p>◇ 各島において適切な処分方法の周知徹底に努めます。</p> <p>◇ 合併処理浄化槽の維持管理や浄化槽汚泥の島外搬出に係る経費が財政を圧迫しています。</p>
2	<p>第2章 地域の概況・課題</p> <p>第7節 生活環境の現況及び課題</p> <p>(3) 公営住宅 表外2項</p> <p>1) 本項での該当住宅は、現状の村内での呼称である「村営住宅」「教職員住宅」を示しているものか。</p> <p>2) 耐用年数を超過している住宅はあるのか</p> <p>3) そのほか住居の状況については情報がないのか</p>	<p>1) 「村営住宅」を示しております。</p> <p>2) 財務省令で定められた法定耐用年数の22年を経過している村営住宅は56棟あります。</p> <p>3) 「住宅や住環境整備は、地域活性化への影響が大きいことから、本村にとって大きな問題として捉え、特定離島ふるさとおこし推進事業で76戸（平成3年度～令和3年度）、離島活性化交付金（空き家改修事業）で12戸（平成26年度～令和3年度）を整備していますが、なおも住宅が不足している状況であることから引き続き住宅を整備する必要があります。」を追記いたします。</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
3	<p>第2章 地域の概況・課題</p> <p>第11節 教育及び文化の現況及び課題</p> <p>◇ 平成9年度から実施している～</p> <p>1)「しおかぜ留学生」は、令和4年で467人を数え、</p> <p>→ 総数か、卒業数か、在籍人数を含めているのか</p> <p>2)「三島村は日本の保健室」というキャッチワードも知られるようになってきました。</p> <p>→ “知られるようになった”の具体的な指標は？</p> <p>→ 恥ずかしながら初めて目にした表現である。平成9年度から同キャッチワードを活用しているのか。</p>	<p>1) 総数です。</p> <p>2) 具体的な指標はありません。</p> <p>3) 正確な時期は把握していませんが、数年前から用いています。</p>
4	<p>第2章 地域の概況・課題</p> <p>第13節 国内及び国外の地域との交流の現況及び課題</p> <p>本節は、地域間交流のことを記す項目であり、旅行客導入やしおかぜ留学に対して記す項目としてはふさわしくないのではないかと。</p> <p>具体的な国内外交流としては (国内交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコ無形文化遺産に仮面・来訪神の文化として登録された仮面神メンドンを通じた、ほか仮面・来訪神を有する地域との意見交換を実施し、今後の観光振興の際の、地域文化との折衝や、時節以外・地域外での来訪神を再演することについての是非について意見交換を行った。(想像ですが、内容についてはさらに聞いたほうが良いのではと) 	<p>第13節では、地域間交流だけではなく、観光、レジャー、教育、文化など三島村に訪れる人々を交流人口として捉え、計画を作成しております。また、ユネスコ無形文化遺産「来訪神：仮面・仮装の神々」として登録されている薩摩硫黄島のメンドンは、全国10地域で構成されている全国協議会に参加していますので、今後、地域間の交流が活発になっていくことを期待しております。</p> <p>いただいたご意見は、具体的な施策推進の際の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三島村の特異な自然遺産、地質遺産を、ユネスコプログラムの日本分野である日本ジオパークへの認定を通じて、日本ジオパークネットワークへの参加をしている。 日本全国の特異な自然遺産や、共通する“火山大国、日本”“変動する大地を有する日本”というテーマをもとに、ほかの認定されている45地域や、参加している準会員の地域とともに、火山対応や地震・津波などの被害対応、また、それらを生かしたアクティビティや観光資源への転換、ひいては持続可能な社会を目指すための意見交換や技術研修、学術知見の交流、学術研究への協力など、多種多様な分野での交流・協同関係を構築している。 ・ 三島村行政の本庁たる三島村役場は、三島村が陸路で接続されていない特異な条件を有する関係上、歴史的に行政区外である鹿児島市に設置している。 そのため、鹿児島県、鹿児島市との交流や意見交換を盛んに行えるようにし、円滑な行政手続きを行えるよう、連携を行っている（具体的な連携や協力関係は役場職員のほうが詳しいかと思えます。非常災害時行政機能移管提携とか、鹿児島市ジオパーク推進室との連携とか） (国外交流) ・ 平成4年にママディ・ケイタ氏の来日に伴い始まった、ジャンベ指導を通じたアフリカ地域、特にギニア共和国との交流。具体的な支援として医療施設の建設事業を執り行った。 しかし、医療の施設を建設したのち、国際的な医療業務に携われる従事者の確保が困難を極めており、安定した医療体制の構築支援を実施できていない。 <p>のような、小さな三島村が国内の知名を集めていることや、小さいながらの国際支援を行っていた歴史を記すのが良いかと思えます。</p>	<p>以下は、計画に追加記載いたします。</p> <p>◇ 三島村は、三島村・鬼界カルデラジオパークとして日本ジオパークネットワークに加盟（正会員46地域、準会員10地域）しており、他の認定地域と相互に連携して三島村地域の持続可能な社会・経済発展のために取り組んでいます。</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
5	<p>第2章 地域の概況・課題</p> <p>第13節 国内及び国外の地域との交流の現況及び課題</p> <p>「三島村は日本の保健室」というキャッチワード</p> <p>→ 誤字 キャッチワードではないか。</p>	<p>ご指摘の通りです。</p> <p>「キャッチワード」に修正します。</p>
6	<p>第2章 地域の概況・課題</p> <p>第14節 自然環境の保全及び再生の現況及び課題</p> <p>県立自然公園制定による制度的な規制について記載したのち、村独自で実施している三島村自然保護条例や三島村昆虫保護条例の設定を行い、採取量や調査研究目的での採取に申請を要するようにしているなど独自の保全も行っていることを記したほうがよいのでは。</p> <p>また、ジオパーク認定による保全は制限をかけるものではないため、ジオパーク活動の支柱として、なぜその地形地質の保護が必要なかの学習や、観光客へのガイドを通じた保全への協力を促すなど取り組みや、風化浸食、植生回帰によるジオサイトの形骸化を防ぐ取り組みとして伐採などの維持を行っているという記載のほうが良いのではないか。</p>	<p>引き続き、三島村地域の豊かな生物多様性や環境文化についての理解を深め、自然環境の保全・再生と、地域活性化につながる持続可能な取り組みを推進してまいりたいと考えており、第3章の振興方針として記載しております。</p>
7	<p>第2章 地域の概況・課題</p> <p>第17節 移住・定住施策の現況及び課題</p> <p>1) 長期的にみると減少傾向ですが、ここ近年では横ばい推移となっています。</p> <p>→ 人口が長期的に見て減少傾向で、移住・定住促進による対策実績が横ばいということか。人口推移が長期的には減少傾向だが、近年は横ばいに推移しており、転出・自然減に対応できる移住・定住促進対策を実施している、ということか。</p>	<p>(1)について、ご意見を踏まえて以下のとおり修正いたします。</p> <p>「村の人口は長期的には減少傾向ですが、定住促進対策事業の効果もあり、直近10年間では横ばい推移となっています。」</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
	<p>2) 全文通して、本項目では、村による移住定住政策や空き家バンク、就労支援についてなどの記載を行うべきかと思いません。例としては、</p> <p>現状)</p> <p>人口の母数が少ない三島村では、全国的な少子高齢化もあわせて、村の存続の一大危機として、平成2年より定住促進対策事業を実施している。近年は、大幅な人口減少への歯止めとなり、長期的に見た人口減少は避けられてはいないものの、移住・定住促進対策によって社会減・自然減を食い止め、近年の人口推移が横ばいになる程度の人口増を行えている。</p> <p>実際に現地に訪れ、移住・定住に向けた取り組みを行う前段階として、様々な移住交流イベントに住民とともに参加し、実際の現地での生活やイベントなどを伝えてもらうなど、親身になれる移住定住PR活動を行っている。</p> <p>移住促進対策事業の成果として、全国的な少子高齢化は本村でも避けられてはいないものの、IUJターンなどの移住により地域構造に変化が見られる。</p> <p>課題)</p> <p>移住を希望する方と、地域や離島での暮らしとの齟齬が発生し、教育、医療、就労の分野などでの意図せぬトラブルが確認されている。また、就労機会に乏しい離島村でもあるため、仕事がなく止む無く島を離れてしまう事例もある。</p> <p>他項目でも述べた通り、本村の住宅供給能力に限度があり、一般的に不動産的価値に乏しい地域柄、不動産事業者なども存在しないため、移住を希望する方の下見や短</p>	<p>2) について、いただいたご意見の内容も含め、広義的な文章表現によって作成をいたしております。</p> <p>ご提案いただきました内容につきましては、今後の施策推進の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
	<p>期移住などの政策実施に限度があり、移住希望者に対して住居が不足する事態ともなっている。</p> <p>対応※2章 16 節にて記載すべきかと思えます。)引き続き地域住民と連携した親身になる移住定住政策を行うとともに、齟齬が起きにくいような受け入れ態勢の整備や、就労支援などによって定住促進を図り、人口減を食い止め、地域コミュニティの活性化を目指します。</p>	
8	<p>第3章 振興方針と計画の内容 第2節 情報通信体系の整備 令和4年度からデジタル推進員を新たに配置しています → 誤字 デジタル化推進員</p>	<p>原案のとおり表記で間違いありません。</p>
9	<p>第3章 振興方針と計画の内容 第7節 医療の確保等 脱字? (2)がない</p>	<p>ご指摘のとおり、以下に修正いたします。 (修正前) (3) 計画の内容 (修正後) (2) 計画の内容</p>
10	<p>第3章 振興方針と計画の内容 第10節 教育及び文化の振興 (2) 計画の内容 第3項通信制高等学校との連携による「三島村学習センター」の設立を目指します。 ↓ 11 ページ記載の第11節 教育及び文化の現況及び課題に、関連する記載がなくこの項目だけが異質である。具体的にどのような内容なのかの提示が必要では?</p>	<p>「離島振興計画」は10年間の計画(方針)を示すもので、具体的な内容は記載していません。また「三島村学習センター」は、人口減少対策が最大の目的ですので、「教育及び文化の現況及び課題」には記載していません。</p> <p>「三島村学習センター」の具体的な内容については、施策に取り組む際に改めて、関係の皆様にお知らせいたします。</p>
11	<p>第3章 振興方針と計画の内容 第11節 観光の開発 (2) 計画の内容 1項目及び8項目 ○ ジオパークを目的とする来島者を増やし、ジオパーク関連の収益の向上を目指す</p>	<p>ご意見を踏まえて以下に修正いたします。 (修正前) 観光ボランティアガイド (修正後) 観光ガイド</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
	<p>すため、体験活動や周遊路などのコンテンツ開発を進め、ツーリズムの選択肢の充実を図ります。</p> <p>○ 観光案内板等の設置や観光ボランティアガイドの育成、観光関係事業者の接客向上及び移動手段の確保など観光客を受け入れる体制や環境の整備などを促進します。</p> <p>↓</p> <p>収益の向上を目指す、という1項目文言と、ボランティアガイドの育成という8項目文言による矛盾。有償ボランティアという表現にするか、ボランティアの字を削除するかがふさわしいのでは。</p>	
12	<p>第3章 振興方針と計画の内容</p> <p>第4節 産業の振興</p> <p>1 農業</p> <p>(2) 計画の内容</p> <p>畜産については、飼料畑等の整備による自給飼料の増産や飼養管理技術の向上、繁殖雌牛の導入推進による生産基盤の維持・拡大を図り、家畜防疫の徹底、耕畜連携や環境と調和した農業を推進します。</p> <p>↓</p> <p>国連 WFP では環境への負荷の大きさから畜産(とくに牛)を減らす方向を示しています。森林放牧、海藻を食べさせるなど、環境再生型の畜産業へいち早く着手することを提案します。</p>	<p>三島村の畜産は、いずれの島もリュウキュウチク(笹)を飼料として活用した周年放牧による肉用子牛生産が主体となっています。</p> <p>引き続き、放牧のメリットを生かし、環境再生型農業の振興のため研究に努めて参ります。</p>
13	<p>第3章 振興方針と計画の内容</p> <p>第11節 観光の開発</p> <p>(2) 計画の内容</p> <p>3島を巡るジオパークワンデークルーズツアーや島別の魅力を活かしたツアーなど</p>	<p>ジオパークワンデークルーズツアーの効果、成果につきましては様々な観点から検証します。</p> <p>その他のご意見につきましては、具体的な施策推進の際の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
	<p>テーマ性のある魅力あるツアー商品を造成します。</p> <p>↓</p> <p>ワンデークルーズに関しては、短い滞在の間にできることが少なく、もてなす島民としての満足度が低いことが今年度までの聞き取りであがっています。</p> <p>また全体予算にくらべて島への経済効果は微小です。参加者のシニア層は移住につながる可能性はないため、政策としての目的がありません。ワンデーより島ごとの滞在型ツアーや、環境を活かした少人数リトリートの造成に主軸をおくことを提案します。</p>	
14	<p>第3章 振興方針と計画の内容 第14節 エネルギー対策の推進 (2) 計画の内容</p> <p>電気事業者によるスマートグリッドの導入等電力の安定供給を図ります。</p> <p>↓</p> <p>グリッド化よりは各家庭のソーラー+蓄電池+電気自動車のほうが、維持管理や防災上の観点も含めて島での現実に適していると思うのでご検討ください。この小さい島々で、グリッドで調整できるほど発電環境を多様化するのは難しいのではと思います。</p>	<p>三島村は各島の内燃力機関により電力供給が行われている独立システムであり、内燃力機関の下げ代による制約が発生するため、自家消費量が下げ代の範囲内に収まるよう、再エネの出力抑制が必要となります。</p> <p>再エネ比率 100%を目標とした大容量太陽光発電導入には、高額な設備導入費、維持管理経費、設置場所、余剰電力貯蔵・消費等の課題、そして、既存火力発電の下げ代の制約があるため、それらを確実に解決していく必要があり、長期間を要すると考えられます。</p> <p>以上のことから、再エネ比率を高めて行く過程において内燃力機関と再エネ(太陽光発電)の制御システムが必要となることからスマートグリッドという表現を用いております。</p>
15	<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな課題として、役場と島との意識の相違があげられます。役場職員に島出 	<p>引き続き、幅広く村民の声をききながら、それを踏まえた施策・事業を展開していきます。</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
	<p>身者が減っていることも原因の一つです。生活実態があまりに違うため、島民からすると的外れの政策が提案されている現状があります。住民の声を効率的に集約する仕組みを作って欲しいです。</p>	<p>また、住民の声を効率的に集約する仕組みづくりにつきましては研究をして参りたいと考えております。</p>
16	<p>第2章 地域の概況・課題 第11節 教育及び文化の現況及び課題 第2章 地域の概況・課題 第13節 国内及び国外の地域との交流の現況及び課題 (1) 国内交流 第3章 振興方針と計画の内容 第10節 教育及び文化の振興 (2) 計画の内容 教育施策について p11、14「三島村は日本の保健室」、p23 通信制高等学校との連携による「三島村学習センター」の設立、将来の移住者や関係人口の増加など、・・・留学制度の一層の拡充を推進 ↓ 個人的に、教育は三島村にとって観光以上に可能性のある分野だと考えている。島の環境が子供たちの心身を健やかに育てることは、しおかぜ留学生の例からもわかる。 一方で、複雑な背景や学力の遅れのある子供たちのサポートが、先生方や里親さんなど現場の努力で成り立っていて、制度として脆いと感じる。子供含む学校関係者・地区の構成員が変わるだけで環境が破綻する危うさをもっているのではないかと。さらに、通信制高校の設置となれば、体格的には大人で精神的には発達途中の、難しい年代の子供たちの受け入れとなる。</p>	<p>「三島村学習センター」は令和6年度の運用開始を考えており、令和5年度は設立協議会を立ち上げ、1年をかけて様々な検討を行います。 高校生を選定やサポートの体制など、必要に応じて説明の機会を設け、皆様のご理解とご協力を賜りたいと考えております。</p>

番号	意見の概要	意見の考え方等
	<p>島側としても、誰でもいいから来てほしい、というわけではない。少なくとも、留学制度の拡充をはかるのであれば、どのような生徒を受け入れ対象とするのか、村として教育の質をどう保ち現場をサポートしていくのか、方針を都度住民にちゃんと説明して話し合いの場を設けてほしい。エゴイスタックな意見になるが、将来自分の子供が学ぶ場所だから、環境がよくないと判断すれば島を出る覚悟もある。そうならないよう、一緒に教育を作っていく、その関わりしろを作してほしい。</p>	